

# 第 1 回首都圏救急医療ミーティング

## - 外傷初療の現状と課題 -

日時：2002 年 2 月 9 日（土曜日）午前 10 時開演

場所：シオノギ渋谷ビル 3 階 レクチャーホール

はじめに

1992年、救急救命士法が施行され、更に2000年には「心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン」が提唱されました。このように救急医療および救急医療システムを取り巻く環境は大きく変化しています。

救急医療において、とりわけ患者の予後に大きく関与しているプレホスピタルケアから救急初療室における初期医療では、救急隊員、医師、看護婦（士）他多くの医療従事者の連携が必要です。これら多くの医療従事者が共通のテーマに関して、プライベートな立場で意見を交換し、お互いに勉強できる場として、首都圏救急医療ミーティングを開催する運びとなりました。

本ミーティングでは、その時その時の興味深い話題を取り上げ、第一線で活躍されている各分野の方々からご講演をいただくと同時に、シミュレーションも取り入れ、またパネルディスカッションを通してお互いに話しあうというように、実践的で実のあるものにしたいと考えています。

本ミーティングが救急医療に従事されている方々の気さくな意見交換の場となることができるように、皆様方のご理解ご協力をお願いいたします。

発起人一同

2002年2月9日

首都圏救急医療ミーティング 事務局  
(株)ブレインネットワークス  
連絡先：東京都品川区南大井 2-7-9  
ミューズ K ビル 5F  
電話：03-5764-1312  
担当者 矢部周治

- プログラム -

**午前の部**

司会・進行：太田祥一 東京医科大学救急医学

**10:00～11:10**

**1．日本における外傷医療の問題点 - 病院前救護から院内初療へ -**

講師：大友康裕 国立病院東京災害医療センター

**11:20～12:30**

**2．外傷初療におけるドクターヘリの救命効果と有用性**

講師：山本五十年 東海大学医学部救命救急医学

**12:30～13:30 (昼休み)**

**午後の部**

司会・進行：山本五十年

**13:30～14:40**

**3．米国におけるプレホスピタルケア**

講師：根本 学 青梅市立総合病院救命救急センター

**14:50～15:50**

**4．シミュレーション - 外傷現場における基本的アプローチ法 -**

実技：根本 学 青梅市立総合病院救命救急センター 他

解説：大友康裕 国立病院東京災害医療センター

**16:00～17:30**

**5．パネルディスカッション - 本邦における外傷初療の現状と今後の課題 -**

司会・進行：根本 学 青梅市立総合病院救命救急センター

パネリスト予定者

山本五十年 東海大学医学部救命救急医学

大友康裕 国立病院東京災害医療センター

徳永尊彦 救急救命東京研修所

三島史朗 東京医科大学救急医学

山口芳裕 杏林大学医学部救急医学

他